

音楽科学習指導案

日 時 令和7年2月13日(木)
 6校時 14:05～14:50
 学校名 文京区立青柳小学校
 対 象 第5学年〇組 〇〇名
 会 場 4階 音楽室
 授業者 指導教諭 金田 美奈子

1 題材名 変そう曲を楽しもう

(音楽のおくりもの5：教育出版)

2 題材の目標

- (1) 曲想及びその変化と音色、旋律、音の重なり、変化との関わりについて理解する。
- (2) 音色、旋律、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
- (3) 変奏曲に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。

3 指導事項との関連

B鑑賞 ア イ

※本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：
 「音色」「旋律」「音の重なり」「変化」

4 題材の評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>知①曲想及びその変化と音色、旋律、音の重なり、変化との関わりについて理解している。(知)</p> <p>知②曲想及びその変化と主題の変化(変奏)との関わりについて理解している。</p>	<p>思①音色、旋律、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>思②音色、旋律、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>態 変奏曲に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材設定の理由

鑑賞の学習では、第3学年で「きらきら星変奏曲」、第4学年で「こと独奏による主題と6つの変奏曲『さくら』から」を聴き、旋律の移りかわりを捉えて聴く学習を経験している。

今回は今までの学習を踏まえ、独奏による演奏から発展させ、楽器の音色や、主題・副次的な旋律・伴奏等の役割を捉えやすく、アンサンブルの楽しさを味わうことのできる室内楽を教材として取り上げる。

本題材を通して「主題」が移り変わることによって生じる響きの違いや曲想の変化等も感じ取りながら変奏曲の構造を理解して聴くことができるようにしたいと考え、本題材を設定した。

6 教材について

(1) 教材「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」(シューベルト作曲)

1819年にシューベルトがシュタイルへ旅行をした時に、パルムガルトナーの依頼を受けて、既に自身で作曲していた歌曲「ます」の旋律を主題とした変奏曲を第4楽章に含む全5楽章ピアノ五重奏曲として作曲した。

この曲は一般的な弦楽四重奏曲とは異なり、バイオリンを1つにして、ビオラ、チェロ、コントラバスにピアノが加わるという演奏形態をとっている。変奏曲とは、特定の旋律に様々な方法で変化を加えながら音楽を展開していく楽曲形式のことである。ここで材料として選ばれた旋律を「主題」といい、この後に続く変化される部分を「変奏」という。この第4楽章は主題と5つの変奏とコーダで構成されている。

7 題材の指導計画と評価計画(全4時間)

時	目標	○ 主な学習内容 ・ 学習活動	評価 (評価方法)		
			知	思	態
第1時	曲想及びその変化と音色、旋律、音の重なり、変化との関わりについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌曲「ます」を聴く。 ○ 楽器の音色の復習 ・ 「ます」の旋律を弦楽器とピアノで聴き、楽器の音色の特徴を確認する。 ○ 「主題」の知覚・感受 ・ 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の「主題」を聴く。 ・ 主題を口ずさんだり手で旋律を表したりしながら聴く。 ・ 主題を演奏する楽器と副次的な旋律や伴奏をしている楽器を聴き取り、楽器同士の関わりについて、全体で話し合う。 ・ 授業支援ソフトに自分の考えを書く。 ・ 主な旋律と伴奏との関わりから生み出される曲の感じについて、学習カードにまとめる。 ○ 曲の仕組みの理解 ・ 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を最後まで聴き、曲がいくつのまとまりでできているかを、まとまりごとに数字で表しながら聴く。 ・ 「変奏曲」について知る。 ○ 振り返り 	知① (発言、記述)		態 (発言、記述)
第2時	音色、旋律、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題と変奏の知覚・感受 ・ 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴き、主題を演奏している楽器の移り変わりを確認する。 ・ 一人一台端末を利用して、主題と聴き深めたい変奏を2つ選んで聴く。 ・ 授業支援ソフトに、選んだ2つの変奏について聴き取ったことや感じ取ったことをまとめる。 ・ 主題と変奏について、聴き取ったことや感じ取ったことをグループや全体で共有する。 ・ 曲全体を聴く。 ○ 振り返り 		思① (発言、記述)	態 (発言、記述)

<p>第3時 (本時)</p>	<p>曲想及びその変化と主題の変化(変奏)との関わりについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。 ○主題の変化(変奏)と曲想の変化との関わりを理解 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴く。 ・一人一台端末の授業支援ソフトで「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴く。 ・主題を演奏する楽器や旋律の変化、伴奏の音の重なり方によって曲想がどのように変化しているのかについて、授業支援ソフトのシートに書く。 ・3人組で、曲想の変化について「楽器の変化」「旋律の変化」「伴奏の音の重なり方」を視点に話し合う。 ・友達の考えに沿って音楽で確かめる。 ○振り返り 	<p>知② (発言、記述)</p>		<p>態 (発言、記述)</p>
<p>第4時</p>	<p>音色、旋律、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴く。 ・曲全体を映像資料で鑑賞し、演奏のよさについて3人組で交流する。 ・「主題」の移り変わりや曲想とのかかわりについて触れながら、自分が考える「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」のよさを作曲者に伝える手紙を書く。 ○振り返り 		<p>思② (発言、記述)</p>	<p>態 (発言、記述)</p>

8 本時(全4時間中の第3時)

(1) 本時の目標

曲想及びその変化と主題の変化(変奏)との関わりについて理解する。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	☆ 指導上の留意点 配慮事項	□評価 (評価方法)
導入 5分	○前時の振り返り ○主題の確認 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」の主題を聴く。	☆主題を想起することができるように主題を口ずさむ活動を設定する。	
展開 35分	○本時のめあての確認 「主題」の移り変わりによる曲想の変化を感じ取ろう。 ○主題の変化(変奏)と曲想の変化との関わりの理解 ・「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴く。 ・一人一台端末の授業支援ソフトで「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を聴く。 ・主題を演奏する楽器や旋律の変化、伴奏の音の重なり方によって曲想がどのように変化しているのかについて、授業支援ソフトのシートに書く。 ・3人組で、曲想の変化について「楽器の変化」「旋律の変化」「伴奏の音の重なり方」を視点に話し合う。 ・友達の考えに沿って音楽で確かめる。	☆伴奏の重なり方に気を付けて聴くために、手で旋律の動きを表したり口ずさんだりしながら聴くように指示をする。 ☆前時に主題やお気に入りの変奏を聴いた経験を想起しながら、「主題」の移り変わりという視点で授業支援ソフトの音源を活用して繰り返し繰り返し聴く活動を設定する。 ☆友達の意見を提出ボックスで見て、参考になるものは、授業支援ソフトのシートに記述するよう助言する。 ☆主題の旋律や演奏する楽器、他の楽器による音の重なり方の変化によって、主題がどのように変化して変奏曲が構成されているのかについて、自分の考えを3人組で発表し合う場を設定する。 ☆意見が出た時に音源で聴くよう指示をする。	知②曲想及びその変化と主題の変化(変奏)との関わりについて理解している。 (発言、記述)
まとめ 5分	○振り返り ・作曲者の工夫について考えながら、「主題」の移り変わりによる曲想の変化のよさについて、自分の考えをまとめる。		